

R6年10月放送分
「東北防衛局における若手職員(技官)の活躍について」
(日本の防衛Q & A)
(自衛隊百科)

R6.9.24 収録

【パーソナリティー】

本日は、「東北防衛局における若手職員の活躍について」というテーマでお送りします。このテーマは6月に防衛事務官について放送しまして、今回は防衛技官です。

東北防衛局職員の仕事内容や職場の様子などを紹介して、防衛省職員を目指すリスナーの参考としていただくために、今回も3名の職員にお越しいただきましたので、いろいろとお話を伺いたいと思います。よろしくをお願いします。

【全員】

よろしくをお願いします。

【パーソナリティー】

では、順に自己紹介とご担当の業務をお話いただけますか。

【茂木技官】

はい、私は、調達部建築課の茂木^{もてぎ}と申します。

秋田県出身で採用7年目になります。平成30年に東北防衛局で採用となり、令和4年に広島県にあります中国四国防衛局に異動しましたが、今年4月に東北防衛局に戻ってきました。

業務内容は東北地区に所在する自衛隊施設や在日米軍施設の建築工事に関する調査や設計、積算、監督を行っています。

【早川技官】

私は、調達部土木課の早川と申します。

北海道出身の24歳で、平成31年に帯広防衛支局の建設課に採用となり、令和4年に東北防衛局土木課へ転勤してきました。

担当する業務は、東北地区で自衛隊や在日米軍が使用する施設を整

備するため、調査設計業務や土木工事を発注し、それらの監督をしています。

具体的に紹介しますと、自衛隊員が勤務する庁舎などの給水管や雨水排水管、汚水排水管の埋設やフェンスなどの外構工事、飛行場の滑走路整備や火薬庫の建設工事など、多岐にわたる土木工事の監督を行っています。

【堀技官】

初めまして、私は設備課の堀と申します。

山形県出身で令和3年に東北防衛局に採用されて4年目です。担当は、自衛隊施設の電気、通信工事の監督官を行っています。

現場では、工事監督業務でマンホールの中に入ったり、床下に潜ったりして、図面どおりの配線となっているかを確認しています。

【パーソナリティー】

皆さんは、建設工事の現場を監督されているということで、これまでに印象に残ったことや、現場でのエピソードなどがありましたらお聞きしたいと思います。^{もてぎ}茂木さんお願いします。

【茂木技官】

はい、印象に残っている業務は、歴史のある建物に接続する施設を新築する工事を監督したことです。広島県にあります海上自衛隊第1術科学校は明治時代からの建物で、その一部を解体して渡り廊下を建設したのですが、建設当時に優れたレンガを外壁に使用して特徴的なファサードを形成していたため、修復にはとても気を使いました。建物の意匠や細かな仕様にまでこだわって監督を行いましたが、完成するまでにいろいろな問題が生じて、大変苦労しました。自衛隊の歴史や古い建造物の工事に携わる責任の重要性について感じた工事でした。

【パーソナリティー】

なるほど。古い建物は^{おもむき}趣も大事でしょうから、工事は大変でしょうね。早川さんはどうですか？

【早川技官】

はい、私は、自衛隊のレーダーを設置するため、山の一面を伐採して林道を整備し、レーダーの支障とならない低木の植栽を行う工事を担当したことがあります。

林道整備は初めてだったので、地元の林業に詳しい会社の方に一から教えていただき工事を完成させました。特に伐採用の機械の作業スピードにはとても驚きました。

施工時期は冬だったこともあり、切り開かれた斜面から見えた海にどこまでも広がる流氷の景色は忘れられません。

【パーソナリティー】

それはとても良い経験でしたね。そんな建設工事を担当する職場はどんな感じですか？堀さんお願いします。

【堀技官】

私が所属している設備課は、課長以下16名で幅広い年齢層の職員が勤務しています。業務中でもコミュニケーションを取ることが多く明るい雰囲気です。

業務についてわからないことがあっても、先輩や上司が積極的にアドバイスをしてくれるので仕事がしやすく、とても心強く感じます。

【パーソナリティー】

なるほど。^{もてぎ}茂木さんの職場はどうですか？

【茂木技官】

はい、建築課は課長以下10名の職員が勤務していて、上司や同僚とは気兼ねなく相談ができ、お互いに助け合いながら仕事をしています。

ワークライフバランスにも取り組んでおり、仕事とプライベートを両立しながら勤務することができます。

また、テレワークの推進も行われており、自宅や移動先で仕事をすることができるため、時間を有効に使い業務に集中することができます。

【パーソナリティー】

素敵な職場ですね。次に休日の過ごし方について教えていただけますか？早川さんお願いします。

【早川技官】

はい、私は野球が好きなので、休日はよく楽天モバイルパーク宮城へ行き、野球観戦をしています。個人的な野望は、全国転勤を利用して全球場を制覇することです。

ちなみに、私は北海道日本ハムファイターズファンです。

【パーソナリティー】

堀さんの休日はどうですか？

【堀技官】

はい、休日は釣りをしたり、テニスコートを借りて友人とテニスをしたりしています。普段はデスクワークがほとんどで体を動かすタイミングがないので、ランニングや筋力トレーニングなど、なるべく体を動かすことを意識して休日を過ごしています。

【パーソナリティー】

分かりました。それでは皆さんから、防衛省職員を目指すリスナーの方へメッセージをお願いします。茂木さん、早川さん、堀さんの順をお願いします。

【茂木技官】

はい、防衛省では飛行場や格納庫、管制塔など、防衛省ならではの施設の建設に携わることができるという魅力があります。国防に貢献することができる大きなやりがいのある仕事です。この放送を通じて防衛省、東北防衛局にぜひ興味をもっていただけたらと思います。

【早川技官】

防衛省と聞くと、なんとなく自衛官のような厳しいイメージを持つと思いますが、防衛局で働いてみると案外そうでもなく、ごく一般的

な職場です。

防衛局では、他では経験できないような特殊性を持った建設工事がたくさんあります。完成した施設を自衛官が気持ちよく使用している姿を目にすると、自分の仕事が日本の安全を支えていることにつながっているんだなあ実感することができます。国防を間近で感じられますので、興味を持っていただけたら嬉しいです。

【堀技官】

調達部の技官は現場を担当しますので出張が多くなりがちですが、普段は立ち入ることのできない施設や、自衛隊や米軍の特殊な施設の建設に携わることができることは大きな魅力だと思います。また、本人の意向による転勤を通して、全国各地を巡ることができるのも魅力の一つだと思いますので、ぜひ防衛技官の仕事に興味を持っていただきたいと思います。

【パーソナリティー】

本日は、東北防衛局で監督官として頑張る若手職員^{もてぎ}の茂木さん、早川さん、堀さんからお話を伺いました。ありがとうございました。

【全員】

ありがとうございました。

【パーソナリティー】

このコーナーでは、よりよい内容にしていくため、ラジオをお聞きの皆様からご意見・ご感想を募集しております。

お聴きのコミュニティ放送局までご連絡ください。